

2012年 4月19日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 特定非営利活動(NPO)法人 誠心会
児童自立援助ホーム こたにがわ学園

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

交流活動—農業体験・牧場体験・自然体験—

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

北海道新冠町の雄大な自然の中で、農業・牧場・自然体験を通して、共に過ごす仲間同士の心地よい人間関係を築き、収穫する喜びを感じさせたり、内在するストレスを軽減させたり、自信を持たせたりすることを目的とする。また、人情味溢れる地域の方々と交流することにより、自分を受け入れてくださる方々の存在を知り、大人に対する不信感を払拭する機会として本事業を実施する。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

・第1回の内容

(1)ピーマンの収穫体験 (2)乗馬体験 (3)バーベキュー、飯盒炊飯

・第2回の内容

(1)サイクリング (2)スポーツ大会 (3)ダーツ大会 (4)ウィンターキャンプ

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

夏は、農業・牧場体験を、冬は、室内での交流を中心として実施しました。ピーマンの収穫では、新冠の地元の方のご協力があり、ビニールハウスの中で収穫をさせていただき、それをバーベキューで味わいました。また、乗馬するだけでなく、馬をなでたり餌を与えるなど馬と触れ合う場面を活動の中に入れました。そして、冬の体験は、教員免許の取得を目指す大学生の協力のもとダーツやバドミントン、卓球などのスポーツ大会を開催したり、食事を一緒に作ったりする活動にも取り組みました。このような活動を通して、子ども達は、自分たちを受け入れてくださる方々の存在を知り、普段あまり見られない表情をみせ、日頃のストレスを十分に発散できました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

今回のプロジェクトを実施するに当たり、地域の方々や大学生と数回にわたり打合せを重ねてきた。皆さんとても協力的で子ども達のために自分たちができることを率先して取り組んでくださった。そのご協力に支えられ交流活動が実施できたこと大変感謝しております。また、子ども達は、普段生活している環境と違う場所で生活する楽しさ、自然の中で思いっきり体を動かす爽快感、新冠の地域の方々の優しさ、活動を通して新しい仲間と触れ合う新鮮さを感じ取ることができたようです。今回の助成がなければ子ども達に貴重な体験を提供することができませんでした。理事長はじめ職員一同より、真如苑の皆様にご心より感謝申し上げます。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり 特になし



(子ども達は、画像を提出することを承諾しませんでしたので、この程度で申し訳ありません。画像を公開することはできませんので、ご了承ください。)